

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成29年 05月 10日

事務事業名	栃木SC支援真岡市実行委員会支援事業			担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係							
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-84-2811						
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業							
関連個別計画						<input type="checkbox"/> 単年度のみ						
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成20年度~)						
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	1.保健体育総務費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度~ 年度)							
事業概要	真岡市は、「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに体力の向上に努めており、特に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは、必要不可欠なことなので、栃木SCの豊かな経験と卓識した技術をもとに、本市の子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、一流選手に直接触れることで伝えられるとともに、栃木SCの支援、更に、本市のPRを実施している。 事業内容 ・少年サッカー教室の開催(栃木SC選手による指導及びサイン会等) ・真岡市民デーの開催(栃木SCのホームグラウンドでの公式戦観戦及び真岡市のPR・物産販売等)											

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)  28年度実績 実行委員会の開催 少年サッカー教室の開催 真岡市民デーの開催(市物産ブースの出展)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
29年度計画 前年度同様	ア 交付金額		450	700	700	700	700
	イ 実行委員会開催数		2	2	2	2	2
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等  児童・生徒 実行委員会	ウ 少年サッカー教室開催数		1	1	1	1	1
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  サッカーを通して、少年スポーツ人口の底辺拡大を図る。 市民デーの開催により、真岡市のPRの場となる。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)  市民ひとり1スポーツの推進と少年スポーツの振興を図る。	名称	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	ア 児童・生徒		7,061	6,996	6,996	6,980	6,858
⑤事業費の推移  投 入 量	イ 実行委員会の人数		15	15	15	15	15
	ウ						
⑥上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移	エ						
	オ						
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
人件費	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
人件費 正規職員従事人數	一般財源	千円	450	700	700	700	700
	延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2
人件費 人件費計(B)	人件費計(A)	千円	450	700	700	700	700
	人件費計(B)	千円	325	338	335	332	332
トータルコスト(A)+(B)		千円	775	1,038	1,035	1,032	1,032
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		栃木SCは、市民密着型のクラブチームを目指して、市民デー等の事業開催を各市町に呼び掛けています。 栃木SCより要請があり、実行委員会を組織して、少年サッカー教室及び真岡市民デーの活動のため、市より交付金が交付されることになった。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		認知度は上がっており、参加者は増加傾向にある。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		栃木SCの今後の活躍が期待されており、早期の上位リーグへの昇格が望まれている。					

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの振興及び心身共に健全な少年スポーツの振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの推進、少年スポーツの振興及び真岡市のPRは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 事業の参加人数を増やす周知を図る必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民ひとり1スポーツの振興が图れなくなり、そして真岡市のPRの場が無くなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付金のみであり、必要最少限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最少限の人件費であり、削減余地はない
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 実行委員会は、市の交付金及び団体の協賛金により運営されている。

## 3. 改革・改善方向の部

### （1）改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  繼続  
事業の参加人数を増やす。

### （3）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

### （2）改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

事業の参加人数を増やすため、関係団体等により多く周知を図る。

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### （1）1次評価結果の客観性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客観性を欠く 評価内容は客観的と言える

### （2）2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### （5）改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

### （3）2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

### （4）その他2次評価会議で指摘された事項 事業の参加人数を増やすこと。